商品名　献血グロベニン-I静注用5000mg 医薬品基本情報

薬効	6343 血漿分画製剤	一般名	乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン注射用
英名	Kenketu glovenin-I	剤型	注射用
薬価	66918.00	規格	5g 100mL 1瓶（溶解液付）
メーカー	武田薬品	毒劇区分	

献血グロベニン-I静注用5000mgの効能・効果

低ガンマグロブリン血症、無ガンマグロブリン血症、重症感染症、特発性血小板減少性紫斑病、川崎病の急性期、(多巣性運動ニューロパチー、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)の筋力低下の改善、(多巣性運動ニューロパチー、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)の運動機能低下の進行抑制、天疱瘡、スティーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症、水疱性類天疱瘡、ギラン・バレー症候群、(インフルエンザ菌を起炎菌とする急性気管支炎、インフルエンザ菌を起炎菌とする急性中耳炎、インフルエンザ菌を起炎菌とする肺炎、肺炎球菌を起炎菌とする急性気管支炎、肺炎球菌を起炎菌とする急性中耳炎、肺炎球菌を起炎菌とする肺炎)の血清IgG2値の低下の発症抑制、(多発性筋炎、皮膚筋炎)の筋力低下の改善、全身型重症筋無力症

献血グロベニン-I静注用5000mgの使用制限等

1.	本剤成分又は含有成分でショックの既往歴	記載場所：使用上の注意 注意レベル：禁止
2.	本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所：使用上の注意 注意レベル：原則禁止
3.	疱疹状天疱瘡、腫瘍随伴性天疱瘡、薬剤誘発性天疱瘡	記載場所：効能・効果 注意レベル：注意
4.	血液型がO型以外、IgA欠損症、抗IgA抗体を保有、脳血管障害又はその既往、心臓血管障害又はその既往、脳血管障害、心臓血管障害、虚血性疾患、血管障害を有する高齢者、血栓塞栓症又はその恐れ・疑い、血栓塞栓症、高血圧、鎌状赤血球症、高リポたん白血症、冠動脈瘤が形成されている川崎病、高ガンマグロブリン血症、溶血性貧血、失血性貧血、免疫不全、免疫抑制状態、心機能低下、急性腎障害又はその恐れ・疑い、腎機能障害	記載場所：使用上の注意 注意レベル：注意

献血グロベニン-I静注用5000mgの副作用等

1. 血圧降下、ショック

記載場所	用法・用量
頻度	頻度不明

2. 著しいAST上昇、著しいALT上昇、著しいAl－P上昇、著しいγ－GTP上昇、著しいLDH上昇、肝機能障害、黄疸、無菌性髄膜炎、項部硬直、発熱、頭痛、悪心、嘔吐、意識混濁、急性腎障害、腎機能検査値悪化、BUN値悪化、血清クレアチニン値悪化、尿量減少、血小板減少、肺水腫、呼吸困難、脳梗塞、心筋梗塞、肺塞栓症、深部静脈血栓症、血栓塞栓症、中枢神経症状、めまい、意識障害、四肢麻痺、胸痛、突然の呼吸困難、息切れ、下肢疼痛、下肢浮腫、心不全、心不全悪化、心雑音、心機能低下、浮腫

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

3. ショック、アナフィラキシー、呼吸困難、頻脈、喘鳴、喘息様症状、胸内苦悶、血圧低下、脈拍微弱、チアノーゼ

記載場所	重大な副作用
頻度	5%未満

4. 意識障害、血圧上昇、動悸、喘息様症状、咳嗽、腹痛、関節痛、筋肉痛、背部痛、CK上昇、ほてり、不機嫌、結膜充血、体温低下

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

5. 過敏症、発疹、じん麻疹、そう痒感、水疱、汗疱、痙攣、振戦、顔色不良、四肢冷感、胸部圧迫感、AST上昇、ALT上昇、Al－P上昇、悪心、嘔吐、好酸球増多、好中球減少、白血球減少、頭痛、発熱、悪寒、戦慄、血管痛、倦怠感

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

6. 顔面潮紅、局所性浮腫、全身発赤、紫斑性皮疹、湿疹、丘疹、めまい、しびれ感、下痢、溶血性貧血、静脈炎

記載場所	その他の副作用
頻度	0.1%未満

7. 溶血性貧血、急性腎障害、過敏反応、脳梗塞、心筋梗塞、血栓塞栓症、発熱、急激な貧血、重篤な全身症状、持続性貧血、心不全、心不全悪化、胎児への障害、流産、胎児水腫、胎児死亡、ショック

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

献血グロベニン-I静注用5000mgの相互作用

1. 薬剤名等 ： 非経口用生ワクチン

発現事象	効果が得られない	投与条件	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎、特発性血小板減少性紫斑病、ITP、川崎病、ギラン・バレー症候群、多巣性運動ニューロパチー、MMN、CIDP、天疱瘡、スティーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症、水疱性類天疱瘡、多発性筋炎、皮膚筋炎、全身型重症筋無力症
理由・原因	本剤の主成分は免疫抗体であるため、中和反応により生ワクチンの効果が減弱	指示	注意

献血グロベニン-I静注用5000mgの配合変化

1. 薬剤名等 ： 中性に近い輸液・補液以外の他剤

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止

薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量
医薬品データベースの決定版 『 DIR 』
Drug Intelligence Reinforce

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.